

富山県における官民連携と地方創生 ～「ウェルビーイング先進地域、富山」を目指して～



令和4年3月12日

富山県知事 新田 八郎

プロフィール

- 氏 名 新 田 八 朗
- 出身地 富山県富山市（父方の祖父は輪島から移住、母方の祖父は伏木出身）
- 出身校 富山高校 / 一橋大学
- 略 歴 昭和56年4月 第一勧業銀行入社
昭和58年2月 日本海ガス株式会社入社
平成10年 公益社団法人日本青年会議所 第47代会頭
平成12年1月 日本海ガス株式会社代表取締役就任
平成30年1月 日本海ガス絆ホールディングス株式会社
 代表取締役就任
令和2年11月 富山県知事就任
- 家族構成 母、妻、息子夫婦、娘夫婦、孫3人
- 趣 味 旅行、映画鑑賞
- 好きな言葉 「One for all, all for one」

私が民間企業の経営者として大切にしてきたこと

①お客様目線の徹底

②スピード重視の対応

③現場主義

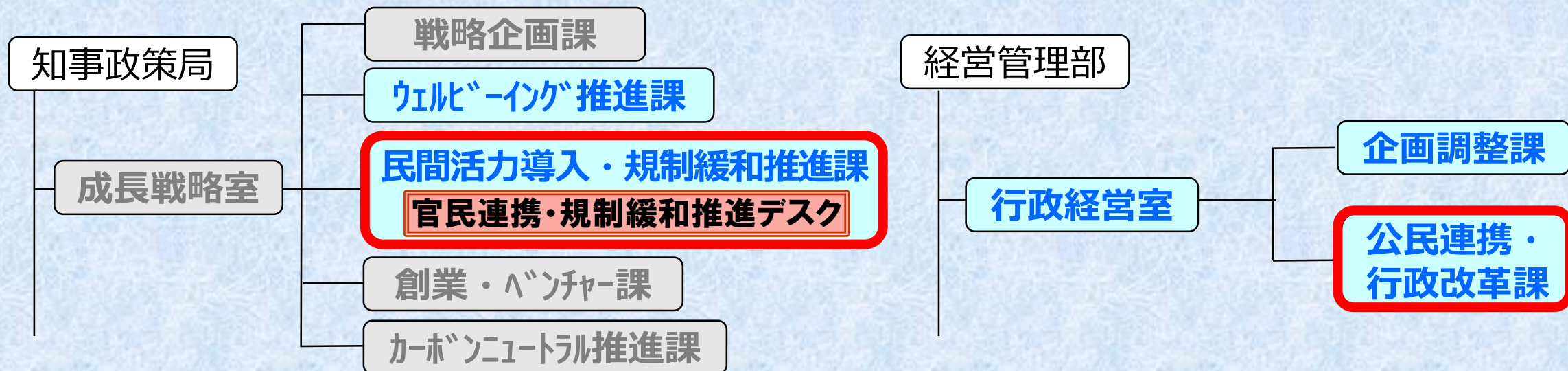
「若手や女性から様々な意見が伝わる風通しの
良い職場づくり。そして、環境変化の中で
果敢に挑戦し、自ら変革を促していく。」

富山県が目指すこと

- ・ 民間にできることは民間に
- ・ 市町村や民間との連携強化
(ワンチーム)

官民連携の推進に向けた組織体制の強化(R④)

- 成長戦略室に「ウェルビーイング推進課」「民間活力導入・規制緩和推進課」を設置
 - 民間活力や規制緩和による事業創出を推進
- 経営管理部に「行政経営室」を新設
 - 公民連携による民間目線の行政経営を推進



官民連携の推進に向けた人材育成

今年度 ○未来志向型官民連携研修プログラム (R3.5~11)

主催: (株) 日本政策投資銀行 富山事務所 参加者: 県・富山市の中堅職員

○都市経営プロフェッショナルスクール (R3.6~R4.2)

主催: (一社) 公民連携事業機構ほか 参加者: 県管理職の職員 1 名

R④ ○官民連携人材育成事業

PPP/PFIなどの多様なスキルを学ぶ実践的な研修に職員を派遣

参加者: 県職員、市町村職員、民間企業

○DX施策立案高度化研修

シンガポール国立大学と連携のもと、高度なDX施策立案のための研修を実施

参加者: 県若手・中堅職員

市町村とのワンチーム研修(R④)

県と市町村の職員が一体となって課題の解決に取り組む

フィールドワーク研修

地域住民や外部
人材と連携して
地域課題を解決

テーマ別課題研修

ファシリティ
マネジメントなど
特定の行政テーマ
について考える

女性職員政策 課題研究研修

意見交換・
ネットワーク
づくり

官民協働事業レビューの実施

今年度、官民協働事業レビューを試行実施（3事業）

<主な意見>

- ・ 民間サービス増を踏まえた事業見直し、目標の明確化（創業支援）
- ・ 若手工芸家の育成のための発表機会等の確保（国際工芸アワード）
- ・ 園芸生産による収益確保と新規参入への支援（園芸産地支援）

➤ R④ 官民協働事業レビューの本格実施

既存事業の改善を図るため、県民との協働による事業見直しを実施（20 事業程度）

公共施設整備・運営への民間活力導入①

コロナ禍の厳しい財政状況を踏まえ、
公共施設の整備・運営への民間活力の導入を調査・実施

R④～ P F I 法に基づく民間事業者選定手続きを開始

富山県武道館



高岡テクノドーム別館



公共施設整備・運営への民間活力導入②

既存施設の機能向上やサービス拡充、新施設の整備・運営において、**今後も積極的に民間ノウハウを活用**

R④～ 民間活力導入可能性調査を実施

富山空港



新川こども施設（仮称）



県内高校生のリノベーションプラン活用

「建築甲子園2017」で全国優勝した富山工業高校の
リノベーションプランをもとにした施設整備

R④～ 全国でも先駆的な職住一体の施設をオープン



創業支援センター、
創業・移住促進住宅

多くの企業家や移住者を呼び
込み、ヒト・モノ・コトが
交流する拠点となるよう運営

官民連携のまちづくりへの支援

令和新时代まちづくり推進事業（R②～）

市町村が多様な主体と連携し実施するまちづくりを支援

< R③採択：南砺市井波地域 > ※R④から事業実施

- 民間の共同企業体が、市の遊休施設や地域の空き家を、「食」を軸とした賑わい創出拠点として再生
- 地域の住民や団体と共に考えるワークショップを開催し、今後の仕掛け・展開を検討
- 東京の企業とも連携し、データに基づく施策立案を実施



旧 井波美術館

富山県成長戦略の策定

○本県のさらなる発展に向けたビジョンや戦略を策定するため
「富山県成長戦略会議」を令和3年2月に設置

座長：中尾哲雄氏（富山経済同友会特別顧問）

副座長：吉田守一氏（日本政策投資銀行前富山事務所所長）

委員：藻谷浩介氏（(株)日本総合研究所主席研究員） ほか7名

特別委員：安宅和人氏（慶応義塾大学環境情報学部教授、ヤフー(株)CSO）

○成長戦略策定に向けてのこれまでの経緯

- ・成長戦略会議の開催（計8回）
- ・15市町村ビジョンセッションの開催
- ・ワーキンググループの開催（6WG×2回）
- ・パブリックコメントの実施

「真の幸せ」(ウェルビーイング)とは

◆ウェルビーイング (well-being)

収入などの外形的な価値だけでなく、キャリアなど社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて、**自分らしくいきいきと生きられること、主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」**



例えば…

- 自分のやりたいことにチャレンジできる
- 地域や人とのつながりがある
- 自由に選択できる実感がある

真の幸せ！

富山県成長戦略のビジョン

○富山県成長戦略のビジョン

幸せ人口1000万

～ウェルビーイング先進地域、富山～

【知事メッセージ全文は県HPに掲載しています】



「富山県成長戦略」の概要

「真の幸せ」（ウェルビーイング）中心の成長戦略

- ◆ 「真の幸せ」（ウェルビーイング）の向上
- ◆ 次世代の価値を産む人材の集積
- ◆ 新たな産業、新しい価値を創出する地域づくり

＜成長戦略の中核となる6つの柱＞

- ① 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略
- ② まちづくり戦略
- ③ ブランディング戦略
- ④ 新産業戦略
- ⑤ スタートアップ支援戦略
- ⑥ 県庁オープン化戦略

① 真の幸せ(ウェルビーイング)戦略

- 県の発展に必要な人材集積のため、多様な人材がいきいきと暮らせる環境づくりに取り組む
- 特に、若い女性のウェルビーイング向上のため、女性の多様性を認め、女性を取り巻く環境を改善する
- 県外の方々を温かく受け入れ、誰もが活躍できる文化を育むことで、人材交流を活発化



ウェルビーイングを通じた人材集積と「出入りの活性化」により、活力ある地域社会を目指したい！

② まちづくり戦略

- 地域の多様な主体と連携しながら、ボトムアップで
富山らしい個性的なまちづくり
- デジタルなど新しい技術を活用して地域課題に取り
組み、自然災害にも対応できるまちづくり
- 官民連携をさらに深化



県民にも県外の方にも、居心地がよいまちづくりを
目指したい！

③ ブランディング戦略(広報/観光/移住)

- 人々の暮らしに触れる旅、富裕層向けサービス
- 県民の幸せな生活そのものが観光資源に
- 県民一人一人が、富山の魅力を発信
- リモートワークや多拠点居住も含めた、富山を訪れる人々とのつながりを構築する



「関係人口1,000万人」の富山県を目指したい！

④ 新産業戦略

- 地元企業の育成や、県外の消費を呼び込み、「外貨の稼げる」自立した経済圏の構築
- 県内企業のDX化や高付加価値化への支援
- カーボンニュートラルを踏まえた産学官連携の強化
- データサイエンス教育やSTEAM教育など人材育成の強化



「新産業の創出」や「実証実験立県とやま」を目指したい！

⑤ スタートアップ支援戦略

- スタートアップ(起業)にチャレンジする人が、県内でのびのびと活動できる環境づくり
- スタートアップ企業に対する集中的支援やネットワークの構築
- 代替わりで飛躍する「跡継ぎベンチャー」候補を見つけ、支援



意欲ある方が起業に挑戦しやすい県を目指したい！

⑥ 県庁オープン化戦略

- 民間や市町村の**関係者と連携して動ける県職員**の育成や、**県庁の組織文化を活性化**
- **行政手続きのデジタル化**や、県民目線に立った県庁ホームページの改善、行政情報の**オープンデータ化**を進める



県民参加や官民連携が行いやすい県庁を目指したい！

富山県成長戦略ビジョンセッションの開催

- 成長戦略は県がつくって終わりではなく、**県民の皆さんと共に考え、共に創り上げ、共に取組みを進めていくことが重要**
- 私自らが県内15市町村を訪問し、戦略やビジョンの概要を説明し、参加者の皆さんが地域の未来などについて議論しあう**「ビジョンセッション」**を開催
- ビジョンセッションで出た**ご意見やご提案は戦略に反映**

富山県成長戦略アクションプランの策定

- 富山県成長戦略の実現に向けて、具体的な施策を検討するため、成長戦略の中核となる6つの柱ごとにワーキンググループ（WG）を設置
- WGでの議論は「富山県成長戦略WG最終報告書」としてとりまとめ
- 最終報告書を踏まえ、令和4年度に実施する事業をアクションプランとしてとりまとめ

富山県成長戦略実現に向けた今後の取組み

富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」

- 3月12日～21日を「ウェルビーイングを体験する10日間」として、トークセッションなどを開催
- 成長戦略・ビジョンを県内外に発信し、共有する県内外の方が集い、議論を深め、連携して取組みを進めるきっかけづくりの場

成長戦略の実現に向けては、県民や市町村、民間企業や関係団体の皆さんとビジョンを共有し、連携していくことが必要不可欠

本シンポジウムを契機として

官民の強みを活かした地域づくり
を共に考えましょう！